

シャープ(株)福山事業所における  
対話事例

於 広島県福山市

## 目 次

1 . 基礎情報 .....	1
1 . 1  広島県福山市について .....	1
1 . 2  福山市のP R T R排出量の概要 .....	2
1 . 3  シャープ(株)福山事業所の地域への取組 .....	4
2 . 目的と事前準備 .....	5
2 . 1  実施の目的 .....	5
2 . 2  プログラムの狙い .....	5
2 . 3  開催に向けた準備 .....	6
3 . シャープ(株)福山事業所における対話事例 .....	7
3 . 1  実施概要 .....	7
3 . 2  参加者・会場レイアウト .....	8
3 . 3  シャープ(株)福山事業所の環境への取組 .....	9
3 . 4  化学物質アドバイザーによる基調講演の概要 .....	11
3 . 5  事業所内施設の見学 .....	12
3 . 6  意見交換会 .....	13
4 . 参加者の評価 .....	16
4 . 1  ファシリテーターの評価 .....	16
4 . 2  化学物質アドバイザーの評価 .....	16
4 . 3  シャープ(株)福山事業所の評価 .....	17

## 1. 基礎情報

### 1.1 広島県福山市について<sup>1</sup>

#### 福山市の立地と気候（2004年）

福山市は、広島県の東部に位置する瀬戸内海に面した人口約42万7千人の都市です。広さは、東西29.5km、南北45.7km、面積461.23km<sup>2</sup>で、四季を通じて温暖で、台風等による自然災害もきわめて少ない気候風土に恵まれています。



福山市の気候

気温( )	平均	16.3
	最高	33.3
	最低	-0.9
平均湿度(%)	70	
日照時間(時間)	2,247.2	
降水量(mm/y)	1,468.5	

#### 福山市の産業

福山市には、福山琴（国の伝統的工芸品に指定）・備後絣・下駄等の伝統産業をはじめ、繊維・木工・機械金属・食品等の全国的にも有数の地場産業が幅広く展開し、地域経済の発展に重要な役割を果たしています。

また、1961年の日本鋼管福山製鉄所（現JFEスチール西日本製鉄所）の誘致と、これに続く備後地区工業整備特別地域の指定を契機に、鉄鋼を基幹とした臨海型工業都市として発展してきました。

近年では、大手半導体工場の立地も進み、特定分野において、全国でも有数の技術力やノウハウを活用して、特色ある製品づくりや日本一の生産量を誇る企業も数多く存在しています。

<sup>1</sup> 福山市ホームページ <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/shiseijoho/profile/1-7.html>

## 1.2 福山市のPRTR排出量の概要<sup>2</sup>

### 届出状況

2004年度は、福山市内の事業所から155件の届出がありました。

2004年度届出状況

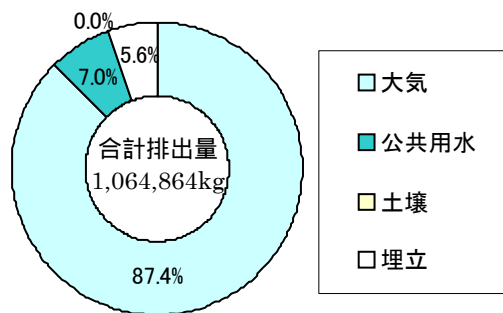
業種	届出件数	業種	届出件数
燃料小売業	74	洗濯業	3
製造業	48	倉庫業	2
自動車整備業	18	産業廃棄物処理業	2
一般廃棄物処理業	4	機械修理業	1
下水道業	3	合計	155

### 届出された排出量の状況について（2004年度届出、2003年度排出分）

2004年度に届出された総排出量は1,064,864kgでした。媒体別排出量の詳細は、大気へ931,067kg（87.4%）、公共用水域へ74,083kg（7.0%）、土壌へ14kg（0.0%）、事業所内への埋立処分として59,700kg（5.6%）となっています。

2003年度PRTR対象物質の媒体別排出量

媒体	排出量(kg)	割合(%)
大気	931,067	87.4
公共用水域	74,083	7.0
土壌	14	0.0
埋立	59,700	5.6
合計	1,064,864	100.0

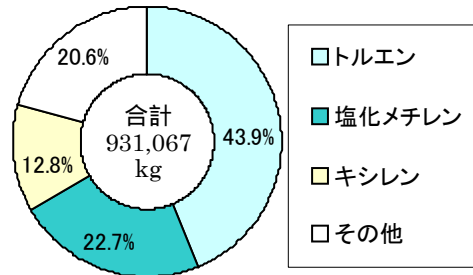


<sup>2</sup> 福山市ホームページ <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/kankyohozen/kankyo/prtr7.html>

大気への届出排出量上位物質

2003 年度に大気への排出が多かった物質

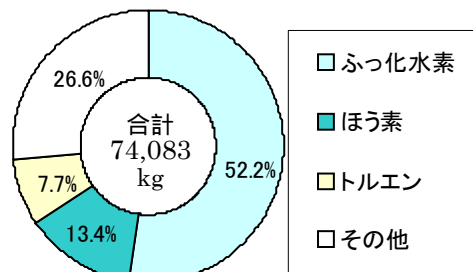
物質名	排出量(kg)	割合(%)
トルエン	408,913	43.9
塩化メチレン	211,500	22.7
キシレン	119,235	12.8
その他	191,419	20.6
合 計	931,067	100.0



公共用水域への届出排出量上位物質

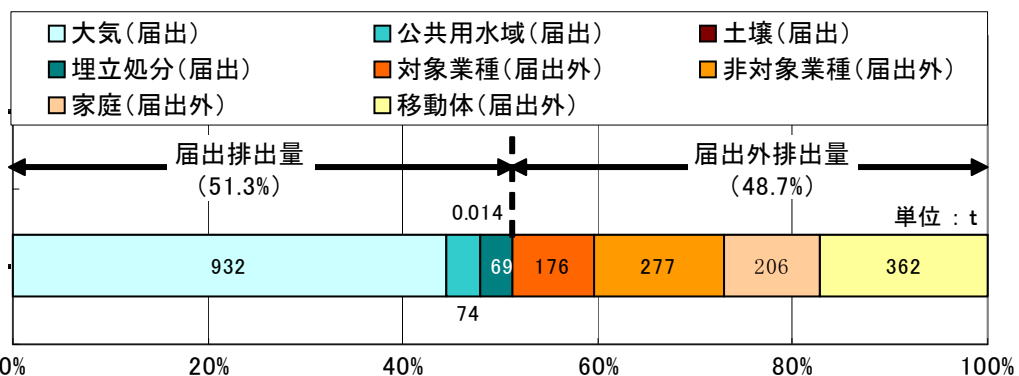
2003 年度に公共用水域への排出が多かった物質

物質名	排出量(kg)	割合(%)
ふっ化水素及びその水溶性塩	38,691	52.2
ほう素及びその化合物	9,953	13.4
トルエン	5,700	7.7
その他	19,739	26.7
合 計	74,083	100.0



【参考】PRTR 届出+届出外排出量の状況(2003 年度届出分)<sup>3</sup>

福山市で 2003 年度に環境中に排出された PRTR 対象物質は下図に示す通りです。合計 2,096,555kg のうち、対象事業所が届け出た排出量は 1,075,092kg で全体の 51.3%でした。一方、届出外排出量は 1,021,463kg で全体の 48.7%を占め、うち一般市民に関係する家庭、移動体からの排出量は 568,608kg で、全体の 27.1%でした。



<sup>3</sup> 環境情報科学センターホームページ ( <http://www.ceis.or.jp/> ) に掲載されたデータを加工

### 1.3 シャープ(株)福山事業所の地域への取組<sup>4</sup>

#### 地域社会に貢献するボランティア活動

「地域社会に貢献するボランティア活動」の一環として、近隣地域と福山駅周辺地域の清掃活動を実施しています。



#### ファミリーデーにおける環境展示

2004年8月27日に「ファミリーデー・イベント」を開催し、台風が接近する中、近隣の子供達等約1,200人が来場。会場では、ミニピオトープ水槽や事業所で育てためだかの水槽を設置するとともに、事業所の環境活動の取組を紹介しています。



#### シャープの森づくりをスタート

地域貢献活動の一環として、シャープ(株)の広島県内3事業所(福山・東広島・三原)が合同で、従業員の植林・育樹体験の場として東広島市八本松町吉川に「シャープの森」作りを開始しました。2004年11月には第1回目の記念植樹として外部来賓12人、地元吉川地区34人、シャープ(株)従業員158人(内、福山事業所28人)参加のもと、1,500本を植樹しました。今後5年間で2.5haの土地に7,500本を植樹する予定です。



#### 地元住民との交流<sup>5</sup>

フェスティバルとしてのファミリーデー等の工場敷地を解放したイベントや、地元小中学生を招いた工場見学等の交流の場を設け事業所の環境保全活動の取組や情報開示を行い、御意見や御質問をいただき環境保全活動の参考としています。

また、地元や行政としての福山市と共同で年に2回排水の分析を行い、3者で放流水質の確認と評価を行っています。そして、外部の方々によりよく事業所の環境活動を理解していただくとともに情報開示を目的として2004年度より環境サイトレポートを作成し、事業所を訪れる方々に配布しています。

<sup>4</sup> 「SHARP 2005年度 福山事業所 環境サイトレポート」シャープ(株)IC事業本部、2005.5発行

<sup>5</sup> シャープ(株)福山事業所へのヒアリングより

## 2. 目的と事前準備

### 2.1 実施の目的

化管法（特定化学物質の環境への排出量の把握等及び管理の改善の促進に関する法律）の施行に伴い、シャープ(株)福山事業所では、使用している化学物質（フッ酸、アミノエタノール等）の排出抑制に取り組んできました。

これからは、化学物質削減の在り方を会社側だけが考えるのではなく、専門家や行政、地域住民、市内の NGO、広島県内の漁業組合等の皆様と化学物質削減の在り方について意見交換を行って、福山事業所での取組が妥当かどうかを総合的に考えていきたいと思っています。

そのために、今回このような場を設け、皆様に参加していただきました。この場は、ある意味では検討会であり、ある意味では勉強会です。ここで得られた意見をもとに、シャープ(株)の今後の方向性を探っていきたいと思っています。

（主催者の開会挨拶より）

### 2.2 プログラムの狙い

参加者の構成として当事業所と利害関係にある方々をできる限り参加していただけるように考え、近隣の町内会関係者、行政の環境関係者を中心に、中立の立場として、福山市内の NGO、大学関係者、県内の漁協関係者で構成しました。

また、当事業所の排水が海域に放流していることから、水棲生物に関連した内容を選び、参加者の興味を抱く内容の基調講演を選定し、本来の目的である当事業者から排出される化学物質（特にフッ素化合物）のリスクについて、地域住民から活発な意見や質問が出やすい雰囲気作りを考えました。

進行については、ファシリテーターと事前の打合せを充分行い、当事業所の環境への取組の話と基調講演や工場見学を組み合わせ、参加者に当事業所の環境保全活動をできる限り分かりやすく、また、飽きさせないように考え、和やかな雰囲気活発な意見交換ができるように工夫を行いました。そして、今回のリスクコミュニケーションにより参加者全員の化学物質（フッ素、2-アミノエタノール）濃度の安全性への認識を高めることを狙いとしました。

## 2.3 開催に向けた準備

昨年3月に本年度の事業所環境目標をたてる段階でPRTR法指定物質削減についての議論が行われ、その中で排水中のフッ素濃度を放流先の海域濃度よりも下げたほうがよいのか、もし下げる場合は、多くのエネルギーや薬品を使い、また副産物として発生する産業廃棄物（工程汚泥）が増加します。環境を総合的に考えれば、このまま海域と同じフッ素濃度で放流を行うのがよいのか、考え方がまとまらず、行政、専門家及び地域の利害関係者から意見を求めようと考えて対話集会（リスクコミュニケーション）を開催することとしました。

開催の準備作業としては、出席者（利害関係者）をいかに多く集めるかが問題でした。事業所近隣の方々については、町内会の関係者宅を回り、対話集会の趣旨を説明し出席いただけるように理解してもらうのに、3ヶ月を要しました。行政関係者については、福山市では初めてのケースであり、今後のモデルケースと考え積極的に参加したいとの意向でした。

福山市内で環境活動が行われているの方々については、企業が主催する対話集会のため主旨をなかなか理解していただけず、当事業所と従業員が行っているボランティア活動等を説明し、一企業の利害のために行うのではないことを理解していただき、出席いただくことができました。その他の参加者については、従業員の人脈を可能な限り活用して対応しました。このように、計画してから出席していただける方々が最終的に決まるまで3ヶ月程度の日程を要しました。

社内においては、環境先進企業を企業の目標に掲げており、幹部が協力的で比較的スムーズに調整ができました。また、環境安全本部等の社内関係部門との調整も容易でした。

準備作業の中で、出席者の調整に予想以上手間取ったため、質疑応答集や事前の予行練習に費やす時間が足りなくなり、本番の対話集会において全体の時間配分が上手くいかず、出席者の質問に対して全て答えることができなくなりました。



### 3. シャープ(株)福山事業所における対話事例

#### 3.1 実施概要

開催場所 : シャープ(株) 福山事業所 IC 事業本部  
(広島県福山市大門町旭 1 番地)

プログラム :

- 13:30 ~ 開会挨拶
- 13:35 ~ 福山事業所の事業内容と環境への取組の概要について(福山事業所所長)
- 13:45 ~ 自己紹介(オブザーバーを除く参加者全員が簡単に自己紹介)
- 14:00 ~ 基調講演 1 「絶滅危惧種: スイゲンゼニタナゴの保護活動」  
盈進高等学校教諭 古本哲史 氏
- 14:15 ~ 福山事業所の環境への取組について  
IC 事業本部生産センター福山環境安全推進センター所長
- 14:30 ~ 基調講演 2 「フッ素の基準値」  
化学物質アドバイザー 渡邊雄一 氏
- 14:45 ~ 基調講演 3 「鳥羽水族館の水処理について」  
鳥羽水族館飼育研究部 塚田 治 氏
- 15:00 ~ 事業所内施設の見学
- 15:50 ~ 福山市の環境について(福山市役所環境保全課)
- 16:00 ~ 意見交換会
- 16:30 ~ 閉会の挨拶

当日の午前中に、関係者に対してリスクコミュニケーションや PRTR 制度について、情報共有を行いました。



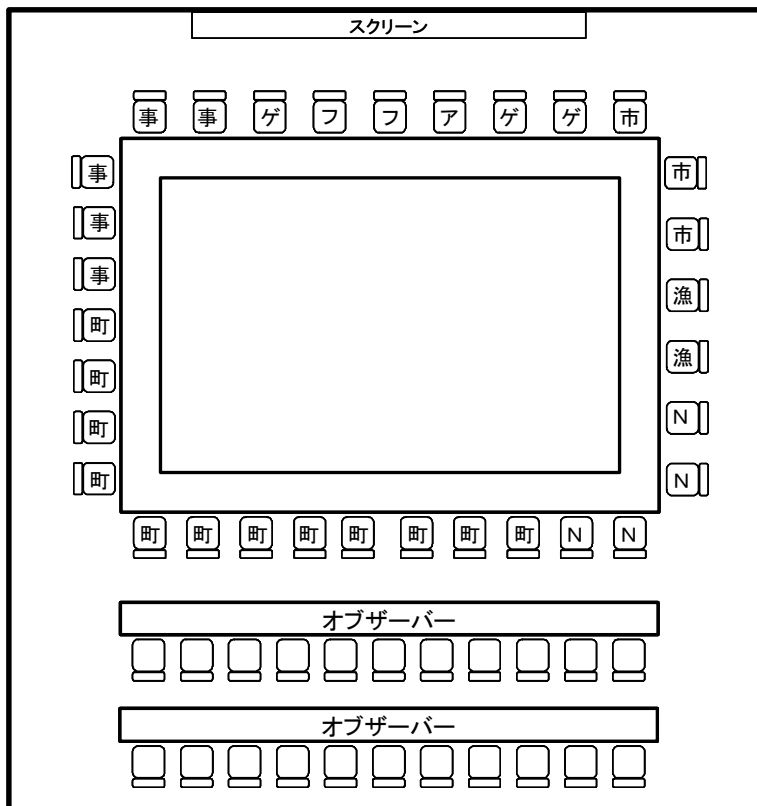
会場風景

### 3. 2 参加者・会場レイアウト

#### 参加者

ファシリテーター		2名
・ 総合司会：フリーパーソナリティー	玉田陽子 氏	
・ 司会補助：(株)環境情報コミュニケーションズ	大歳幸男 氏	
化学物質アドバイザー	渡邊雄一 氏	1名
ゲストスピーカー		3名
・ 盈進高等学校教諭	古本哲史 氏	
・ 鳥羽水族館飼育研究部	塚田 治 氏	
・ 福山大学人間文化学部教授	伊藤祐一 氏	
福山市民		
・ 事業所が含まれる学区の全 14 町内会より（町内会長）		12名
・ 福山市で市民活動を行っている団体より		4名
隣接町の漁協組合員		2名
福山市役所環境保全課		3名
シャープ(株)（所長、総務部長、環境安全推進センター長他2名）		5名
	円卓着席計	32名
オブザーバー（福山大学学生他4名）		5名

#### 会場レイアウト



フ：ファシリテーター  
 ア：化学物質アドバイザー  
 ゲ：ゲストスピーカー  
 町：町内会長  
 N：市民団体（NGO）  
 漁：漁協組合  
 市：市役所職員  
 事：シャープ(株)

### 3.3 シャープ(株)福山事業所の環境への取組<sup>6</sup>

#### 福山事業所の概要

所在地： 広島県福山市大門旭1番地  
設立年月： 1985年(昭和60年)2月  
生産品目： フラッシュメモリ、CCD/CMOSイメージャ、  
液晶用LSI、システムLSI等

#### 福山事業所における化学物質の取扱と環境目標

取扱物質： 硫酸、フッ酸、硝酸、IPA、アセトン等

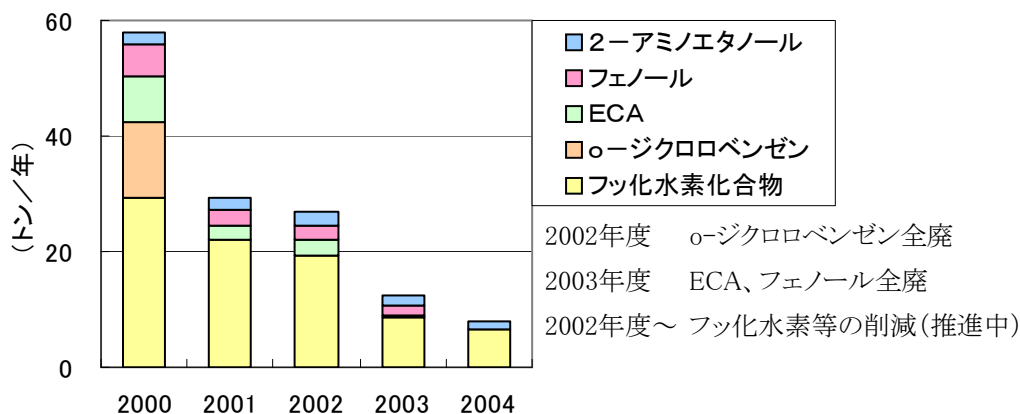
PRTR対象物質排出量削減目標：

(中期目標) 2007年度に2000年度の94%削減

(2005年度目標) 2000年度PRTR化学物質排出量の86%削減

#### 福山事業所のPRTR対象物質排出量の推移

2002年度から事業所一丸となりPRTR対象物質の排出削減に取り組みを開始し、2002年度にo-ジクロロベンゼンを全廃し、2003年度にECA(エチルセルソルブアセテート)とフェノールを全廃しました。また、2002年度から継続してフッ化水素等の削減に取り組み、2004年度で2000年度排出量の86%削減を達成しました。



福山事業所のPRTR対象物質排出量の推移

<sup>6</sup> 「SHARP 2005年度 福山事業所 環境サイトレポート」シャープ(株)IC事業本部、2005.5発行

## 2004年度PRTR化学物質排出量等内訳

(単位:t)

化学物質名	取扱量	排出量			除去 処理量
		大気	公共水	土壌	
2-アミノエタノール	118.6	1.8	0	0	0
N,N-ジメチルホルムアミド (DMF)	47.1	0.02	0	0	38.8
ピロカテコール (別名 カテコール)	4.0	0	0	0	0
フッ化水素及びその水溶性塩	151.8	0	6.3	0	145.6

## 福山事業所の懸念

2004年度で2000年度排出量の86%削減を達成しましたが、2-アミノエタノールとフッ化水素及びその水溶性塩は依然として排出量が多い状況でした。いずれも、大幅に排出量を削減できる技術はありますが、それらを導入すれば処理による電力消費量の増加や薬品の使用、代替物質の使用による新たな化学物質の排出等が予想されました。

特にフッ化水素は、排出濃度が水質汚濁防止法で定められた排出基準の1/10であり、海水中に存在する自然由来のフッ素と同レベルの濃度となります。排出量をさらに削減する必要があるのか、それを事業者だけで判断してよいものか迷い、周辺住民やNGO、行政等様々な立場の方から意見をお聞きしたいと思います。

【参考】 福山市における2-アミノエタノールとフッ化水素及びその水溶性塩の届出排出量の推移と福山事業所からの排出が占める割合<sup>7</sup>

## 2-アミノエタノール

排出年度		2001	2002	2003	2004
福山市全域	排出量 (kg)	2000	1900	4100	-
	排出事業所数 (件)	1	1	2	-
シャープ(株)	福山事業所排出量 (kg)	2000	1900	1900	1800
福山事業所	割合 (%)	100.0	100.0	46.3	-

## フッ化水素及びその水溶性塩

排出年度		2001	2002	2003	2004
福山市全域	排出量 (kg)	38,451	47,721	38691	-
	排出事業所数 (件)	5	6	7	-
シャープ(株)	福山事業所排出量 (kg)	22000	19000	8300	6300
福山事業所	割合 (%)	57.2	39.8	21.5	-

<sup>7</sup> 福山市ホームページ <http://www.city.fukuyama.hiroshima.jp/kankyohozen/kankyo/prtr7.html> 他

### 3.4 化学物質アドバイザーによる基調講演の概要

2002年度に福山市から排出されたフッ化水素及びその水溶性塩

福山市総排出量 : 51,820kg  
届出排出量 : 47,721kg (移動量 47,829kg)  
届出外排出量 : 4,099kg

シャープ(株)福山事業所から排出されるフッ化水素及びその水溶性塩

排出先 : 公共用水域(海域)  
排出濃度 : 1.43ppm

(参考: 海水中のフッ素濃度: 1.3~1.4ppm、海水中のフッ素平均濃度: 1.30mg/kg)

フッ素の人への影響と環境基準値

人への影響 : 斑状歯(歯が黒くなる現象)

淡水(飲料水) 環境基準 : 0.8mg/L  
排出基準 : 8mg/L

海水(飲用なし) 排出基準 : 15mg/L (参考: 海水中の平均濃度 1.3mg/L)

【結論】 事業所排水中のフッ化水素濃度は、排出基準の1/10で、現状の排出濃度であれば海水域の水生生物に対する影響はないと考えてもよいと思います。



化学物質アドバイザーの講演風景  
(スクリーン横が化学物質アドバイザー)

### 3.5 事業所内施設の見学

参加者を二つのグループに分け、パネルを使った詳細な事業説明と福山事業所独自の水処理技術を駆使した施設見学とを交互に実施しました。途中、談笑が見られる等、和やかなムードで進行されました。



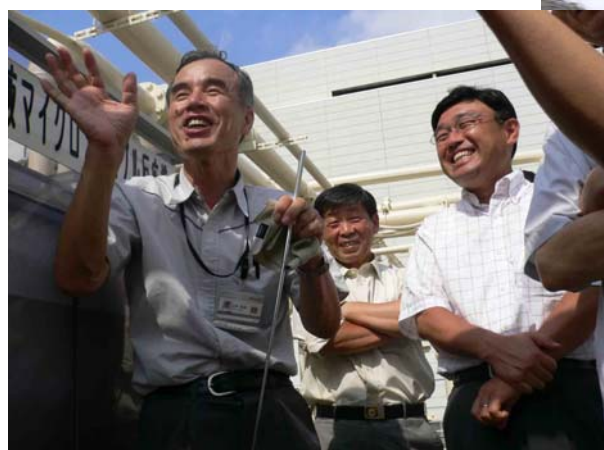
パネルを使って製品の製造工程を説明  
(精密工場なので、工場見学ができないため)



現像廃液の処理方法の説明に聞き入る参加者



処理水で飼っている魚たち



現像廃液マイクロナノバブル反応層の前で楽しく質疑応答

事業所見学の風景

### 3.6 意見交換会



総合司会  
玉田さん

前半のプログラムで予定より時間がかかってしまったため、意見交換の時間を充分にとることができません。あらかじめ、皆様の質問に全て答えられないことをお伝えしておきます。

今日の会合に参加して、どのような意見や感想を持たれましたか？  
町内会の皆様からお願いします。



町内会長  
Aさん

前にも工場見学に来たことがあります。意見交換まで行う会に参加するのは初めてで、色々な専門家から数値を聞かされても分からないことが多いです。一番気になっているのは、排水が本当にきれいなのか、大気汚染状況は大丈夫なのかという点です。資料を見る限りでは、基準値を全てクリアしているので安心して生活できるのではないかと考えています。

最近、海で魚釣りをするとハゼのような土着の魚も取れるようになりました。家庭から出る排水の質が上がってきたのでしょうか。排水の泡がほとんどなくなったので、順調に環境がよくなっているのだろうと客観的立場から思います。また、シャープも努力しているのだろうと思いました。



町内会長  
Bさん

昨年の10月に小学生と野々浜の海水について勉強する機会がありました。広島県の環境局の人も参加していたと思います。

そのとき、私はアサリが生息しているのを発見して安心しました。



町内会長  
Cさん

年に2回、福山市、住民、事業者3者立会いのもとで、排水のサンプリングを行っています。この2、3年でフッ素の濃度が低くなり、なおよい傾向が見えています。

海を汚すのは私たちの生活排水が主だったのではないかと思います。最近、この地域も下水道の普及により生活排水の垂れ流しがなくなったので、環境がよくなってきたのでしょうか。事業所排水が問題なのではなく、我々が生活の中で気をつけていかなければならない問題だと思っています。シャープには、これからも企業としての責任を果たして欲しいと思います。



町内会長  
Dさん

事業所に入ったのは今日が初めてで、規模の大きさに驚きました。

排水は要素別に厳しい基準を設けてモニタリングしているようですが、24時間隙間なく測定しているのでしょうか？

基準を超過したら、事業所にどのようにフィードバックされるのでしょうか？

排水は最終的にめだか等の魚で監視しているというのを聞いて、私は累積の影響を見るためにやっているのだろうと思いましたが、事業所の方からは単に今現在問題ないことを見ているという説明を受けました。では、累積の影響はどのように評価しているのでしょうか？



シャープ(株)  
環境担当者

排水のモニタリングは、24 時間連続測定です。  
法律で定められた基準値よりも厳しい社内の管理基準値を設けていまして、この基準をオーバーした場合は、緊急回収して最初の工程から処理し直すシステムになっています。二重三重に対応できるようにしています。  
最終的に海に放流される排水は、めだかと測定器を使って監視しています。しかし、測定器は一つの物質についてしか測定することができず、トータルの影響は見れないため、めだかを使っています。  
もちろん、めだかで排水の瞬時の影響も見えています。



化学物質  
アドバイザー

蓄積性のある物質については、法規制やそれに基づいた調査等から、別途リストアップされています。その中にフッ素は含まれていません。つまり、蓄積性は低いと考えてよいということです。



漁協組合長  
Eさん

海へフッ素を 1.5ppm で排出しても問題ないという説明でしたが、シャープ(株)福山事業所以外の事業所もほとんどが 1.5ppm でフッ素を排出したら、影響はどうなるのでしょうか？  
また、下請けの会社に対する指導はどうしているのでしょうか？



化学物質  
アドバイザー

フッ素の環境基準値は、海が 1.5ppm、淡水が 0.8ppm です。もともと海の水に 1.3ppm くらいのフッ素が含まれているので、同じ濃度レベルの排水をたくさん流しても影響はありません。ちなみに、事業所からの排水基準は 15ppm です。これは、事業所が流した排水が、海で 10 倍以上に薄まることを想定しています。福山事業所の排水のフッ素濃度は、1.5ppm なので、排水基準の 1/10 です。  
ちなみに、人への影響は 1.5ppm で問題になります。そのため、淡水への環境基準は 0.8ppm で、排水基準は 8 ppm になっています。



シャープ(株)  
環境担当者

協力事業所では、福山事業所と同様に、それぞれが独自の環境管理のシステムを持って、それぞれが目標を決めて取り組んでいます。  
どのように取り組んでいるかは、我々が年に 1 度監査を行っています。監査の結果、我々の基準に合っていないところは、指導しています。



総合司会  
玉田さん

ではここで、これからの日本を担う福山大学の学生の方に意見を聞いて見ましょう。





福山大学  
Fくん

午前中の説明の時に配られた資料を見た感想ですが、新しい化学物質がこれからどんどん出てくると思います。これまでの規制は、人体に影響が出て対応してきました。これからは、影響が出る前に対応することが重要になってきますが、そのためにどんな取組を行っているのでしょうか？



化学物質  
アドバイザー

新しい化合物は、世の中に出る前に毒性の試験から始まり、安全基準等を厳密にチェックします。だからといって必ず安全とはいえませんが、法律ではそのようなシステムになっています。

今まで市場に出回っている化学物質は5万種といわれていますが、全て有害性のデータが揃っているわけではありません。なお、有害性データが手に入る物質のうち、PRTR 制度では354 物質を対象にしています。



町内会長  
Gさん

シャープの排水を汲んで地元の人が散水車で水を撒いていますが、それは人体へ影響ないのでしょうか？



化学物質  
アドバイザー

PRTR 制度では、事業所内の埋め立てについては報告することになっていますが、散水は対象になっていません。もし、水が汚染されていて問題があれば、浸透して地下水に影響することになりますが、それはまた別の問題です。



シャープ(株)  
環境担当者

先ほどの事業所見学で排水のモニタリング用のめだかを見ていただきましたが、排水のモニタリング用に植物を使っています。事業所内でバラを栽培しています。また、水への影響は、川菖蒲を使ったモニタリングもしています。今のところ、排水による植物への影響はありません。



市役所  
Hさん

行政が行った調査結果や持っている情報はどんどん公開しています。また、公開されていない情報でも、個人情報を除けば、情報開示請求で入手できますので、ぜひ御活用下さい。



シャープ(株)  
環境部門所長

最後に、本日、皆様からいただいた意見を参考に、福山事業所の今後の取組をよりよいものにしたいと思います。

本日はお忙しい中、御無理をいって集まっていただきありがとうございました。私たちにとって初めての対話集会、リスクコミュニケーションで試行錯誤でした。気が回らないこともあり、御迷惑をかけたかと思いますが、多くの貴重な意見をいただくことができました。とてもありがたく思っています。気持ちを新たに、今後の活動に活かしたいと思います。

また、より皆様に愛される会社に仕立てていきたいと思っています。

## 4. 参加者の評価

### 4. 1 ファシリテーターの評価

#### 玉田陽子様の評価

予想以上に活発に意見交換され、あっという間に時間が過ぎてしまいました。地域の皆様に満足していただきたいと願いゲストスピーカーをお招きしましたが、ちょっと欲張りすぎたでしょうか……。でも、1回目の試みとしては、とても充実した1日だったと思います。そのためにも、これで安心しないで継続することが大切だと感じています。

参加して下さった全ての方々に、感謝しています。

ありがとうございました。

#### 大歳幸男様の評価

リスクコミュニケーションのファシリテーションは初めてというファシリテーターの起用であったため、ファシリテーターに事前に趣旨や目的、進行方法について説明しました。当初、住民からの質問や意見は少ないと予想していましたが、リスクコミュニケーション当日の午前中の説明や、工場見学等により予想以上の活発な意見交換ができました。但し、自己紹介に時間を要してしまい、時間がなくなり実質的な討議が中断する形となったのは残念です。ファシリテーターの進行方法に課題が残りますが、ファシリテーターの存在により中身の濃い意見交換となったと思います。

意見交換は途中になってしまいましたが、今後とも事業者はリスコミを継続するとのことでしたので、住民との信頼関係が今後一層高まるものと思います。

### 4. 2 化学物質アドバイザーの評価

関係者による事前の準備、市民の皆様の熱心な質問、ファシリテーターのてきぱきとした処理により順調に討議集会が終了しました。化学物質をはじめ様々な事業所のリスクを市民、行政と共有して改善していくためには、今回のような地道な「リスクコミュニケーション」の場が大切であります。その中で化学物質アドバイザーの担う役割は大変重要なものであることを実感しました。

#### 4.3 シャープ(株)福山事業所の評価

今回のリスコミを実施したことにより、下記の成果がありました。

地元町内会、行政等の利害関係者と有害物質フッ素や2 - アミノエターノールに関する共通の化学的見識及び情報を持つことができました。

また、放流している有害物質フッ素等の濃度が環境に影響しないことも化学物質アドバイザー様のコメントにより認識できました。そのことにより、福山事業所としての特にフッ素処理に関する取り組み方向を確認できました。

化学物質のリスク評価の重要性を認識できたことと、リスクコミュニケーションの価値を実感することができました。

以上